

公表

事業所における自己評価総括表 (児童発達支援)

○事業所名	児童デイサービス ドリーム泉崎		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 6日		2026年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2026年 3月 6日		2026年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援及び集団活動を通して、子どもたちがさまざまな人と関わり、多様な経験を積めるよう支援しています。 また、日常の中で障がいの有無に関わらず交流できる機会を設け、子ども同士が学びあえる環境づくりを大切にしています。	日常の遊びや集団活動を通して多事との関わりを広げ、コミュニケーション力の向上を意識した支援を行っています。 所外活動、体操、音楽活動などの多様なプログラムを取り入れ、主体的に参加しながら経験を重ねられる環境づくりに取り組んでいます。	地域とのつながりを大切にしながら、所外活動や体験型の活動をさらに充実させていきます。また、地域資源の活用や外部との交流の機会を増やし、子どもたちの経験の幅を広げられるよう取り組んでいきます。

2	職員間のコミュニケーションを大切に、日々の情報共有や振り返りを通して、連携の強化とチームワークの向上に取り組んでいます。	毎日のミーティングや職員研修を継続的に実施し、情報共有や支援の振り返りを通して職員のスキル向上と支援の質の向上につなげています。	研修や勉強会へ積極的に参加し、専門的知識の習得とスキルアップを図るとともに、その学びを日々の支援に活かしていきます。
---	--	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士が交流できる機会を設けているが参加機会や関りが充分とは言えない状況があります。	保護者同士が交流できる機会は設けているものの、参加のしやすさや関わりの深まりに課題があり、十分な交流につながっていない状況があります。	参加しやすい時間帯や内容の工夫を行い、保護者同士が自然に関われる機会を増やしていきます。また、小規模な交流の場や個別での関わりも取り入れ、参加しやすい環境づくりを行っていきます。
2	事業所内での活動の様子は発信しているものの、内容や伝え方によっては保護者に十分に伝わり切れていない場合があります。	活動の様子は連絡ツールやSNSなどで発信しているものの、支援の意図や子どもの変化が保護者に十分に伝わっていない場合があります。	連絡ツールやSNS等の発信内容を見直し、活動の様子だけではなく支援の意図や子どもの変化も具体的に伝えていきます。また、職員間で発信内容の視点を統一し、わかりやすく伝える情報共有に取り組んでいきます。